

# 主要事業マネジメントシート

部局名 福祉部

|        |   |  |   |                       |                       |   |            |                |                |
|--------|---|--|---|-----------------------|-----------------------|---|------------|----------------|----------------|
| 事業名    | 社会的養護生活支援事業費 / 担当室課 福祉部子ども室家庭支援課  |  |   |                       |                       |   |            |                |                |
| 予算額    | H24<br>H25  | 千円( )<br>千円( )   | H26<br>H27要求  | 千円( )<br>95,686 千円( ) | 千円( )<br>65,823 千円( ) | 実績  | H24<br>H25 | 千円( )<br>千円( ) | 千円( )<br>千円( ) |
| 事業の優先性 | <input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名: )<br><input type="checkbox"/> 成長戦略(項目名: )<br><input type="checkbox"/> その他(項目名: ) |  | <input checked="" type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名: 保育環境の充実 )<br><input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名: )   |                       |                       |   |            |                |                |
| 事業選択   | 役割分担  | 行政としての役割   | <input checked="" type="checkbox"/> 府の役割<br><input type="checkbox"/> 国の役割<br><input type="checkbox"/> 市町村の役割<br>(理由)虐待やDV等の事由により家庭を離れて生活する子どもには、家庭での不安定な養育状況のため学習習慣が定着していないことが多い。支援は、措置機関として府の責務である。                      |                       | 民間との役割分担              | <input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割)<br><input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施<br><input type="checkbox"/> その他<br>(理由)虐待やDV等の事由により、施設で生活している子どもに対し、生活支援と学習保障を通じて、自立に向けた人生のスタートラインの不平等を解消することは行政の責務 |            |                |                |
|        | 事業手法  | 手法の妥当性   | [学習習慣の定着支援] 個別の学習支援を行うことは、不安定な養育環境で育った児童への、学習習慣定着に有効。<br>[高等教育機関への進学機会の保障] 学業が困難な児童に対し高校卒業を支援するとともに、学力・意欲がある児童への進学機会を保障することは、効果的な自立支援策。<br>[一時保護児童への学習支援] 一時的に家庭を離れることを余儀なくされた児童に対して、教育保障を行うとともに、個別の学習支援を行うことは、回復支援として妥当。 |                       |                       |   |            |                |                |
|        |   | 受益と負担  | <input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準: )<br><input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由: )<br><input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない   |                       |                       |   |            |                |                |
|        |   | 将来のリスク管理   | 児童人口が減少する中で、社会的養護を必要とする児童数はほぼ横ばいと推計しており、同程度の事業規模を見込む。   |                       |                       |   |            |                |                |
|        | 事業間調整   | 庁内での連携   |   |                       |                       |   |            |                |                |
|        | 他事業との整合性等   | 他事業との重複は特になし   |   |                       |                       |   |            |                |                |
| 事業効果   | 目標・指標   | (事業目標)<br>社会的養護が必要な児童に対し、施設における学習体制への支援を行うことにより、学習習慣の定着を図るとともに、自立を支援。<br>(指標) H20年度卒業[児童養護施設](全国) → H24年度卒業 (実績)<br>・高校進学率: 91.7%(97.9%) → 96.4%(96.5%)<br>全国平均と同等を維持<br>・大学等進学率: 28.3% → 33.9%(79.3%)<br>大学等進学率の向上(おおむね50%をめざす)<br>(事業期間) H 27 ~ H 31 |   |                       |                       | - 目標に達しなかった場合の改善方策<br>・学校外学習費の単価を一般家庭の平均並みへ引き上げること検討する。<br>・補助範囲を習い事へ広げるなど、塾以外の手法を取り入れることを検討する。   |            |                |                |
|        | コスト分析   | (指標)<br>H24(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円<br>H25(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円   |   |                       |                       | (コスト分析結果)   |            |                |                |
|        | 特記事項  | <事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載>   |   |                       |                       |   |            |                |                |